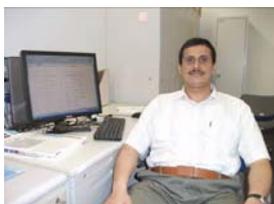


アジズ・アリ・ナセール・アルハイミ 研究員（イエメン）



私はイエメンから来たアジズ・アリと申します。イエメン海上保安庁海事課の課長であり、捜索救助の専門家でもあります。

イエメン共和国は中東に位置し、南でアラビア海・アデン湾に、西で紅海に、東でオマーンに、北でサウジアラビアと国境を接しています。また、世界でも有数の重要な航路であるバブ・エル・マンデブ海峡とも面しています。イエメンには、21の行政区域があり、国土面積は約53万平方キロメートルとなっています。首都はサヌアで、人口は2,300万人を超えています。イエメン共和国は、1990年5月22日に300年もの時を経て南北イエメンが統合し、現在のイエメン共和国が成立しました。

イエメンは熱帯に位置し、洪水、地震、火山噴火、干ばつといった災害が発生する他、地滑り、鉄砲水などにも見舞われやすいです。過去数十年にわたり数多くの洪水被害に直面し、イエメン政府は防災政策や防災関連機関の設立及び強化に関心をもち始めています。私は2010年1月から6月までADRCの受入研究員として滞在しています。受入研究員プログラムでは、ADRCの仲間たちと防災に関する情報や経験を共有する素晴らしい環境を与えてくれるものです。このような貴重な機会を与えてくれた日本政府やADRCに感謝の意を表します。本受入研究員プログラムは、私の知識や災害に対する理解を更に増やしてくれるだけでなく、私や私の組織がよりよい防災を推進するために他機関との連携を促進してくれるでしょう。